

久留米藩士入植130周年記念
石橋美術館所蔵名品展
—海の幸— 青木繁と久留米の美術

会 期：2008(平成20)年11月1日(土)～12月14日(日)
毎週月曜日休館
(11月3日、24日は開館、11月4日、25日は休館)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
会 場：郡山市立美術館企画展示室
主 催：郡山市立美術館、石橋財団石橋美術館
観 覧 料：一般800(640)円、高校・大学生500(400)円
※()内は20名以上の団体料金。中学生以下、
65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方は無料。



坂本繁二郎《放牧三馬》
1932(昭和7)年作
石橋財団石橋美術館蔵

と見られます。また、青木繁は当時の雑誌や美術評論家岩村透が所有していた洋書などで、ラファエル前派の、古典や歴史などからの題材の選び方から作品の構図、そして人物のポーズなどまで詳細に研究していたことがわかっています。ですから、今、久留米市に展示されている当館のコレクションを思い起こしながら今回の展覧会をご覧になられると、青木繁や坂本繁二郎の新しい側面を発見できるかもしれません。

なお、常設展示室では、久留米市関連として、青木繁が口絵を描いた『春鳥集』(蒲原有明著、明治38年)や、坂本繁二郎の『日本風景版画 第六集 筑紫之部』(大正7年)、古賀春江の油彩画《蝸牛のいる田舎》(昭和3年)、吉田博の木版画も展示されておりますので、あわせてご覧ください。(当館学芸員 菅野洋人)

講演会

「石橋コレクションの洋画
青木繁と久留米の画家を中心に」

講 師：植野健造氏(石橋美術館主任学芸員)
日 時：11月9日(日)午後2時から
場 所：多目的スタジオ(入場無料)

特別ギャラリートーク

講 師：森山秀子氏(石橋美術館学芸課長)
日 時：12月7日(日)午後2時から
場 所：企画展示室(企画展観覧券が必要です)

美術講座:クローズアップ・「海の幸」

講 師：当館学芸員
日 時：11月22日(土)午後2時から
場 所：講義室(入場無料)

ギャラリートーク

講 師：当館学芸員
日 時：11月8日(土)、29日(土)午後2時から
場 所：企画展示室(企画展観覧券が必要です)

同時開催

風土記の空 郡山市内の中学校美術部による作品展

毎年夏に開催している郡山市内の小学校による「風土記の丘の美術展」(今年の第7回展は7月21日から8月24日まで開催)に続いて、「風土記の空」を今年初めて開催します。この展覧会は、中学校美術部・文化部等に在籍している生徒の作品等を展示し、美術作品を鑑賞する場、生徒同士が交流する場として、美術館と中学校との連携の活性化を目的としています。

会 期：平成20年10月28日(火)～12月14日(日)
会 場：美術館ロビー
参加校：郡山市立逢瀬中学校、郡山市立郡山第二中学校、
郡山市立緑ヶ丘中学校、郡山市立宮城中学校



青木繁《わだつみのいろこの宮》
1907(明治40)年作(重要文化財)
石橋財団石橋美術館蔵

